

《西原町町民交流センター施設を使用許可申請（本申込）する前に》

令和2年8月以降の申込みについては、沖縄県の警戒レベルが第4段階もしくは交流センターの都合により閉館にならない限り、キャンセル対応は、西原町町民交流センター管理規則による通常対応とさせていただきます。

また新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止するため、さわふじ未来ホール及び中ホール等で行われるイベントについては、大規模な感染リスクがあることを勘案し、下記のとおりご留意願います。

① 主催者が感染リスクを判断して、以下のとおり慎重な対応をお願いします。

主催者側でホール入場者の把握すること。

主催者側でマスク・消毒液の準備と設置を行うこと。

ホール及び舞台裏出入口等を開け、定期的に換気ができる状況に努めること。

② 地域における感染者の実情やその必要性にかんがみて主催者がどうしても開催する必要があると判断する場合には、裏面【多くの方が参加する場での感染対策のあり方の例】等を参考にして、十分に注意してリスクへの対応を行い、仮にリスクへの対応が整わない場合には中止又は延期をお願いします。

③ なお、リスクへの対応が十分行っていた場合にも、その時点での流行状況に合わせて、交流センターの要請等により急な中止又は延期を行えるような備えをお願いします。

④ 新型コロナウイルス感染症による中止や延期による損害については、交流センターでは一切責任を負えませのでご注意ください。

上記事項を理解したうえで、お申込みいたします。

責任者氏名

印

裏面 【多くの人が参加する場での感染対策のあり方の例】

1) 人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

- 参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い方は参加を認めない。
- 過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方は参加しない。
- 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方は参加しない。
- 体調不良の方が参加しないように、入場料などのキャンセル代などについて配慮する。
- 発熱者や具合の悪い方が特定された場合には接触感染の恐れのある場所や接触した可能性がある者等に対して、適切な感染予防対策を行うこと。
- 会場に入る際の手洗い・消毒の実施ならびに、イベント途中においても適宜手洗いや休憩を入れるなどの時間を取ることを。
- 飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う（たとえば、「手が届く範囲以上の距離を保つ」、「声を出す機会を最小限にする」、「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場面はマスクを着用させる」など）
- 施設利用者は、イベント開催する前に接触確認アプリをインストールすること。
- 観客についても、主催者側で会場入口での接触確認アプリのインストールを促すこと。

2) クラスタ（集団）感染発生リスクの高い状況の回避

- 換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
- 人を密集させない環境を整備。会場に入る定員をいつもより少なく定め、入退場に時間差を設けるなど動線を工夫する。
- 大きな発声をさせない環境づくり（声援などは控える）
- 共有物の適正な管理又は消毒の徹底等

3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

- 感染者がでた場合には、出演者、その他の参加者に連絡が取れる体制を確保すること。
- 参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する、また濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること。

4) その他

- イベント内容により必要と思われる対策があれば、主催者判断で実施すること。